



CANSAT (缶サット) の事後プレゼン

平成 28 年 9 月 9 日実施

SST.R&amp;D

高大連携授業

2016.10.05

写真

## 第1回 大阪府立大学との連携授業

### 高大連携授業について

本校と大阪府立大学様は昨年度より連携授業を実施しており、今年度は4回連携授業を計画しており、今回はその第1回目として実施して頂きました。

### 授業内容

- 1: 3月の共同実験と缶サット甲子園の地方大会と全国大会の報告
- 2: 缶サットと小型人工衛星の違いについて考える。

### 授業内容1

今年の3月に大阪府立大学様が所有している液体ロケットCEESに本校の生徒(主に1年生)が製作したCANSAT(缶サット)を搭載して、高度300(m)から投下実験をして頂きました。

その実験から得られたデータを基に発表資料を作成し、実験の事後プレゼンを行いました。

また、今夏の缶サット甲子園地方大会、全国大会で研究開発した「誰にとっても分かりやすい」缶サットのシステムについて発表したのち、学生の皆さまや大学の先生方から質問や指導、助言を頂きました。

### 授業内容2

私たちのクラブは全国工業高等学校長協会の人工衛星打ち上げプロジェクトの衛星部品製作協力校として活動しています。

今回の講義では缶サットと小型人工衛星の違いについて、工学的な手法を用いて講義して頂きました。

生徒達には講義の内容についての宿題が課せられましたので、頑張ってもらおうと思います。

### 謝辞

大阪府立大学の小型宇宙機システム研究センター(SSSRC)の先生方、学生の皆さま、今回の連携授業のために貴重なお時間を割いていただき誠に有難うございました。次回の連携授業に向けて、研究開発をしていきますので、ご指導、ご協力よろしく申し上げます。



正門前にて集合写真



連携大学の先生から人工衛星について講義を受けています